



大阪早稲田倶楽部



大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部共催の新年会(1月14日、シェラトン都ホテル大阪で)

2023.autumn

vol.178

新年会：倶楽部と校友会の共催で華やかに…………… 1
倶楽部祭：新人歓迎会も兼ね、にぎやかに…………… 2
HPリニューアル：情報発信や交流に威力を発揮…………… 3
定時総会：コロナ明け、120人が校歌熱唱…………… 4～5
ワセジョ会：山本能楽堂でお稽古体験…………… 6
ワセジョ会：京都で「入門お茶会」…………… 7
ハイキング：高槻の古墳など13キロを歩く…………… 8
ハイキング：大阪のをレトロビルをたどる…………… 9
ワセオケ：百年ぶり大阪公演に1200人集結…………… 10
佐賀・博多ツアー：大隈侯の故郷でゴルフ、観光、宴会…………… 11

ウォーキング：32人が長岡京で歴史散歩…………… 12
Wフォーラム：廣末雅昭氏オンライン講演会…………… 13
ゴルフ・青年部：早慶ゴルフ大会・青年部ゴルフ…………… 14
ゴルフ・青年部：校友会ゴルフ・青年部バーベキュー…………… 15
食べ歩き：京都であゆ料理を食す…………… 16
稲雲会：俳句会一年の歩み…………… 17～20
校友会：2023年度役員・理事名簿…………… 21
会 員：新入会員、大会役員…………… 22～23
役員・理事：2023年度役員・理事名簿…………… 24
結 び：倶楽部室、阪急グランドビル移転…………… 25



食の検定®



食の検定とは より良い食生活を送るためのパスポート

毎日の食事が私たちの体をつくれます。
食べることは、生きることそのもの。
食に関する正しい知識を持つことは、心身の健康を保ち、
人生をより良く生きることにつながっていきます。
誰にでも必要な、生きていくための基礎教養といえるでしょう。
食の検定では、検定試験を通じて、食について体系的に学ぶ
機会を提供しています。
4級から受験をすることができ、学びながらステップアップして
いくことが可能です。
合格証は、よりよい食生活を送るためのパスポートになります。



お試し受験はこちら！
一般社団法人 食の学問体系化研究所

シーン別食検活用方法



1. ご家庭で
豊かな食生活を実現
「食の検定」で学んだ知識は、
毎日の買い物や献立づくりに役
立ちます。また、お子さんが受験
すれば、食育にもつながります。



2. 企業で
健康経営に寄与する
働く人の健康管理につながり
ます。仕事のスキルやモチベー
ションアップにも 貢献します。



3. 学校で
児童・生徒の食育や学びに
児童・生徒の食育になるのはも
ちろんのこと、食の検定は「アグ
リマイスター顕彰制度」の加点
対象になっており、専門学校や
大学などのAO入試でのアピー
ルすることができます。

CONTENE

CBDの力を活用した高品質な天然由来のスキンケア&ウェルネス製品は、
日常生活を豊かで活力あるものに導きます。Made in Japan.

Skincare

コンテネのスキンケア製品は、高品質の天然由来成分を使用し、
天然ヘンプ（大麻草）から抽出したCBDを活用しています。肌タイプ
を選ばずお使いいただけますが、特に乾燥肌・敏感肌・トラブル肌の方
にお使いいただきたい製品です。

Wellness

コンテネの食用CBDオイルは、オーガニックココナッツオイルと天
然由来のカンナビノイドから作られており、自然なウェルネスソリュー
ションをお探しの方にとって理想的なデ일리サプリメントです。



CBDとは？

CBDは大麻の種子などから抽出されるカンナビノイド
と呼ばれる化合物のひとつで、健康やウェルネスに多くの
のメリットをもたらすとされています。

スキンケア

CBDには潤いを与える効果があり、気になる箇所に塗布することで
皮脂と水分バランスを整え、肌荒れを防ぐ効果が示されています。

リラクセーション

世界的に研究が進んでおり、近年はCBDを経口摂取することで、健
やかな毎日を持続し、先々の健康に不安を感じている方の健康維持
に役立つことが示されています。多くのユーザーが「より充実した休
息を取るためにCBDを使用している」と報告しています。CBDはさま
ざまな健康に役立つ成分や、リラックス感のある使い心地により、使
用者が充実した休息を取る際の間接的な手助けとなっている可能
性があります。

安全とナチュラル

コンテネは厚生労働省が定める法令と安全基準を厳守する国内
輸入業者と緊密に連携し、高品質の天然由来カンナビノイドのみを
使用しています。製品は日本国内で加工され、サプライチェーンのす
べての工程で高い品質とトレーサビリティを確保しています。

初回購入15%オフ

詳細はウェブサイトを参照
<https://contene.jp>
VIRTU株式会社



新年会に華やかに集う



大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部共催の新年会が2023年1月14日、上本町のシェラトン都ホテル大阪で開催され、93人の参加で華やかに新年を祝いました。

依然としてのコロナ禍のもと、円卓に着席、移動は控えて食事時以外はマスク着用をとまだ大らかに集えない状態でしたが、このような方式にも次第に慣れたようで、歓談の輪があちこちで広がり、名刺を交わす風景も盛んでした。

校友会大阪府支部の黒川明支部長（昭52年政経）、倶楽部の熊澤一郎会長（昭51年商）の挨拶に続き、校友会の羽牟正一副支部長（昭51年法）の乾杯の音頭で高らかに杯をあげました。倶楽部員でもある衆参の国会議員4人も出席、日頃の支持の感謝を壇上で述べられました。

倶楽部合唱団のステージもあ

り、「紺碧の空」「ひかる青雲」「早稲田の栄光」を高らかに歌い上げ、拍手を浴びました。大隈侯の故郷を訪ねる3月の倶楽部の1泊2日の佐賀ツアーや早稲田大学交響楽団の110周年大阪公演の案内などもあり、会場はにぎわいいっぱいでした。倶楽部の小西康仁理事長（昭52年商）の締めめの挨拶のあと、応援部OBの林怜矢さん（平28年社）のリードで校歌を斉唱しました。最後に全員で記念撮影しましたが、100人近い仲間がそろった写真は圧巻でした。



恒例の倶楽部祭 にぎやかに開催



恒例の大阪早稲田倶楽部祭が2023年4月2日（日）、森之宮のKKRホテル大阪で開催されました。5月の正式なコロナ明け宣言の前ですが、心おきなく集えるようになり、57人が春の楽しいひとときを楽しみました。

桜が見ごろのころの土日を設定していて、近年は3月末に満開になる年も多かったですが、今年はちょうど満開でした。ホテルの窓越しに見える大阪城の桜も見事でした。倶楽部の新入会員歓迎会も兼ねており、この日は10人が参加。若い方から年配の方まで。HP



で知ったり、転勤で同僚から聞かされたりと入会の経緯も様々ですが、このような懇親会で一度ご一緒すれば何年来の仲間ようになるのが当倶楽部の特徴です。新入会員によるステージでのあいさつで同郷と知ったり、同じ高校だったりもあり、親しみもいっそう増していたようです。愉快的会話の輪は時を忘れてあちこちで広がっていました。

ホテルでの懇親のあとは、お隣の大阪城公園内にある「早稲田の森」へ。倶楽部の先陣が植樹し、碑を建てた一角で、記念写真を撮って親睦を深めました。

会員の趣味や勤務先も検索可能に！

水上 ただし(平成3年社学)

便利な「会員マイページ」スタート

大阪早稲田倶楽部のホームページ（HP）がHP開設から十数年を経て、全面リニューアルされました。HPを訪れた方に、倶楽部の魅力をより分かりやすくお伝えできるように、校友会大阪府支部のページとも連携する形で、デザインや機能を刷新。さらに、便利な倶楽部会員専用サイト「会員マイページ」を追加し、会員情報の検索や、倶楽部公式イベントへの申し込みが簡単にできるようにしました。

今回の改修では、各部会の活動内容や、入会申込みの方法をわかりやすくすることで、倶楽部の活性化に繋がることを目指しました。「会員マイページ」は、事務局の新会員管理システムに紐づけた機能で、会員1人1人にIDとパスワードが割り当てられます。会員は、「会員マイページ」に登録するだけで、「デジタル会員名簿」や「倶楽部公式行事の申込み」などの便利な機能が、パソコンやスマホから利用できます。事務局にとっても「個人情報の管理」の手間を大幅に減らすことができ、業務の効率化が図れます。

IDやパスワードと聞くと、「面倒くさそう」「デジタルは苦手」という方もおられるかもしれませんが、使ってみると意外と簡単です。マイナンバーカードに代表されるように、国や自治体もデジタル化を進める中、「進取の精神」をお持ちの早稲田OB、OGの皆様には、ぜひ、この機会に「デジタルの便利さ」を実感いただきたいと願っております。

デジタル会員名簿には、会員で自身で、連絡先を変更したり、勤務先の「業務内容」や「趣味」などを記入したりできるので、キーワード検索すると、登録した会員の中から「ビジネスパートナー」や「同好の士」「同学年の会員」などが簡単に見つかります。

このように、様々な交流に活用



できる可能性を持った「会員マイページ」ですが、多くの会員のみなさまにご登録いただければ、宝の持ち腐れとなってしまいます。ぜひ一度、ご自身の情報を登録の上、「会員マイページ」を使ってください。

事務局では、これからも、HPの内容の充実に努めてまいります。ご意見や、ご不明な点などございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。



倶楽部定時総会開催 120 人が集う

大阪早稲田倶楽部の2023年度定時総会が5月26日（金）、大阪新阪急ホテルで開催されました。ご来賓を含め、120人が参加。コロナ禍が明けて心おきなく集うことができ、懇親会では歓談の輪が広がりました。

総会に先立ち、アサヒビールの前取締役社長の平野伸一さん（昭54年教育）が「アサヒビールの経営理念の導入と戦略について」のテーマで講演。圧倒的なシェアで立ち上がる麒麟ビールを前に苦難の時代の大リストラの機微、スーパードライの大ヒットの裏話、社員の意識改革と歴代社長のリーダーシップによる巻き返しの妙などを熱っぽく語っていただきました。

総会では熊澤一郎会長（昭51年商）が「歴史ある大阪早稲田倶楽部がさらに進化した組織になり、充実した活動を展開し、母校の支援を引き続き行っていくよう努めます」と挨拶。2022年度、23年度の活動、決算、予算、役員人事案などがはかられ、可決されました。

大学本部から川上泰雄理事、三木省吾校友会事務局

長ら、さらに近隣の校友会から永島宣彦京都府支部長、大平順一滋賀県支部長にご来賓として参加いただきました。

にぎわいの懇親会

懇親会では、マスク姿もちらほら。アクリル板のないテーブルで、料理も久しぶりのビュッフェ形式となりました。黒川明・校友会大阪府支部長（昭52年政経）が「きょうのようなフェイス・トゥ・フェイスが懇親会の醍醐味です。楽しく語らい合いましょう」と高らかに乾杯の杯を挙げました。

着席ではありましたが、ドリンク片手にテーブルを巡って愉快的懇談が見られました。ステージでは、早稲女会や食べ歩き会、Wフォーラム、関西演劇文化研究会、ゴルフなどの部会の活動PRがあり、和田浩孝副理事長（平1年教育）が「人生劇場」の一幕を朗々と語り上げ、喝采を浴びました。締めめの校歌斉唱もこのところ口パクか“黙唱”だったのが、晴れて堂々と。応援部OBの林怜矢さん（平28年社会）による圧巻



アサヒビールの躍進について語る平野さん



倶楽部員の友好親睦を進める熊澤会長

のリードで高らかに歌いました。

総会の役員人事では、理事の河田一彦さん（昭42年商）、揚野寛さん（昭43年政経）、小林哲也さん（昭43年政経）、廣末雅昭さん（昭43年理工研）、千切智世さん（昭62年商）の5人が退任され、新たに藤林精二さん（昭56年法）、伊藤伸さん（昭60年教育）、岡崎信一さん（昭60年法）、井本久子さん（平6年教育）、梶谷健治さん（平9年社学）の5人が選出されました。



「人生劇場」和田副理事長の初ステージ



乾杯の音頭を取る黒川支部長



迫力満点の林さんの校歌のリード

能を学ぶ

加藤 直樹(昭和58年理工)



ワセジョ会が企画した能のお稽古体験行事が2023年6月6日、大阪市中央区の山本能楽堂で開かれました。参加者は、和菓子を味わいながら、能と狂言の歴史を学び、能舞台で稽古をつけていただきました。

能楽師の山本章弘さん（重要無形文化財総合指定保持者）と、息子の山本麗晃さんに直接、指導していただきました。山本章弘さんは、2019年5月、大阪新阪急ホテルで開催された大阪早稲田倶楽部創立100周年記念式典で素晴らしい舞を披露いただいた方です。

部隊上では、参加者を代表し、今回幹事を務めた白原早織さんが、本物の能の衣装を身に着け、能の所作を披露。あでやかな姿に、思わず見とれてしまいました。

続いて参加者全員で、高砂読本（たかさごや一、このうらぶねに、ほをあげて〜…）で謡を練習。その後、白足袋を履いて舞台上をすり足で歩く体験もさせていただきました。

今回、能の魅力に触れることができ、日本の伝統文化をまた一つ好きになりました♪



早稲女会が「入門お茶会」



10人が参加 「私でも大丈夫」

正式なお茶席と聞いて、二の足を踏む方も多いのではないのでしょうか。作法が厳しく、格式高く、不調法はダメ。そんなイメージに加えて、長時間の正座なんて、無理無理！ でも、そう言わずにお茶を楽しんではいかがでしょう。そんな趣旨で、早稲女会が初心者向けのお茶会を企画し、2月18日、京都市内で開催しました。

茶道には、様々な流派がありますが、今回は武家茶道三斎流（島根県出雲市）の師範にお茶室でもてなしていただきました。参加した10人の中には、お茶席



が初めての方もいて、茶室に入った途端、緊張からか一同、シーンと静まり返りました。

着物をきりっと着込んだ女性師範は、雰囲気を感じて、「お気軽に。楽しんでいただくのがお茶ですから」とほぐしてくれました。

無理に正座をしなくても、低い椅子に座ったり、あぐらを組んだり、足を横に投げ出したりしてもよいそうです。正座で足がしびれたら、途中で足を崩すのもOK。「作法はありますが、こうじゃなきゃいけないというのはないんです。難しく考えないでください」と終始にこやかな師範の言葉に気持ちが楽になりました。

その後、茶碗の持ち方から飲み方、隣の人へのあいさつ、お菓子の食べ方までわかりやすく丁寧に教えていただきました。

参加者らは「もっと堅苦しいものかと思っていたけど、これなら全然OK」「こんな機会でもなければ、茶道に触れられなかった」などと笑顔で話していました。



古墳とウォーキングの楽しみ

免 範親(平成15年理工)

ハイキング部会は令和4年11月19日、参加者28名で高槻の今城塚古墳・ハニワ工場跡と摂津峡ウォークを楽しみました。子ども連れも2組参加で、老若男女で楽しめたハイキングでした。

まず向かったのは今城塚古墳。今城塚古墳は淀川流域最大級の前方後円墳で、6世紀前半につくられた継体天皇（聖徳太子の曾祖父）の墓だと言われています。（学会有力説）。宮内庁では茨木市の太田茶臼山古墳を継体天皇の墓と治定していることもあり、宮内庁の管理が及ばないため、高槻市により発掘調査が行われ、公園として整備されています。天皇陵（大王墓）でありながら古墳の中を自由に歩きまわることができるのは日本でここだけです。

今城塚古墳公園では、田村昌之幹事から継体天皇にまつわる聞いたこともないケッタイな歴史の話を聞きながら、園内を散策しました。埴輪祭祀場では埴輪にまたがったりしながら皆で記念撮影です。古墳に隣接している今城塚古代歴史館では、様々な展示品・模型・映像解説が観覧できます。田村幹事から聞いた話を一部裏付けるような出土品や復元品なども展示されており、学校では教わったことのない当時の歴史の理解が深まりました。

その後、闘鶏野神社に立ち寄り、日本最大の埴輪工場があった新池ハニワ工場公園で昼食をとり、いよいよ



よ芥川沿いの歩道を摂津峡に向かって歩いていきます。

摂津峡に向かう途中で「あくあぴあ芥川」という高槻市立自然博物館に立ち寄りました。そこでは動物のはく製や昆虫・化石の標本、芥川に生息する魚・両生類などの展示がされています。入場無料の施設ですがちょっとした水族館で、子どもにとって今日一番楽しめるスポットとなりました。

芥川には鷺も飛来していて、自然を存分に感じながら歩道を散策することができました。

大人も子どもへとへとになりながら、摂津峡ようやくたどりつけました。史跡を巡りながら、自然を感じ、結構な量のウォーキング（万歩計13km！）が出来、とても楽しい1日でした。



レトロビルに感銘、感動

小林 一則(昭和55年政経)

てくてくハイキングの会は2022年12月3日、大阪の街なかのレトロビル巡りを楽しみました。淀屋橋、北浜、船場界隈に現存する明治、大正、昭和初期の名建築の数々を訪ね歩く、ガイド付きツアーとあって、36人が参加して盛り上がりました。

リーダーの田村昌之さん(昭54年法)に、21のビル・建物の解説資料をご用意いただき、万全のスタンバイ。暖かな日差しの下、趣のあるビルを1軒1軒、時間を惜しみながら巡りました。現役で使われている建物がほとんどで、高層ビルにはさまれながらも、周囲の景観に見事に調和したデザインと重厚さは、しっかりと存在感を示していました。

ボンド本社の旧小西家住宅や北浜レトロビル、高麗橋野村ビルなど、かつての大阪商人たちが財を投じて建築した風情たっぷりのビルは、時を経ても輝いていました。ネットなどで紹介されて人気を集め、見学予約が困難な綿業会館では、スタッフの方に特別に案内いただきました。重要文化財ですが、今でも普通に利用されていて、床や壁、天井などの大きな構造から、



窓、階段、椅子、テーブル、調度品、絨毯、シャンデリアといった細部にいたるまで、感嘆、感銘、感心、感動、感激の連続です。当時としては贅を尽くしたものでしょうが、よくぞ当時のままに残してくれたものだ感謝です。胸を張って誇れる大阪遺産です。

外観を駆け足で見ただけのビルもありましたが、それでもご用意いただいた21のビルは回り切れず、参加者からは改めてじっくり訪ねさせてもらいますとの声が多々ありました。堪能した歴史探訪・建築・美術大いに勉強のウォーキングでした。



早稲田大学交響楽団 にぎわいの大阪特別公演

熊澤 一郎(昭和51年商) 小西 康仁(昭和52年商)

早稲田大学交響楽団の創立110周年を記念した大阪特別公演が2023年3月11日、ザ・シンフォニーホールで開催されました。約100年ぶりという大阪での公演を指揮したのは、大阪早稲田倶楽部員でもある校友の寺岡清高さん(平成元年文)。コロナ明けに向けて早稲田に元気を、大阪に明るさをと、倶楽部と校友会大阪府支部が特別協力し、当日は、約1200人の校友がホールに集結。近隣府県の校友会支部からも、多くの校友のみなさんに駆け付けていただき、大盛況となりました。

1913年創立の早稲田大学交響楽団は、「ワセオケ」の愛称で親しまれる大学公認のオーケストラです。早稲田大学の学部学生で構成され、団員は約250人。年4～5回の主催公演や、入学式、卒業式をはじめとする大学公式行事や文化事業での演奏を主体に活動。このほか、年間20～30件の依頼演奏もこなし、海外での演奏も15回を数えます。



指揮の寺岡さんは、文学部を卒業後、桐朋学園大を経てウィーン国立音楽大学指揮科で学び、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラに客演。国内では、新日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー交響楽団などを指揮し、大阪交響楽団の常任指揮者も務めました。

公演当日は、1700人収容のホールの75%ほどが埋まり、同交響楽団としてもコロナ以降、最多の入場者



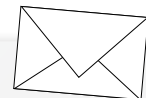
となったそうです。マーラー／連作歌曲集「さすらう若人の歌」。スメタナ／「モルダウ」、サン＝サーンス

／交響曲第3番『オルガン付き』などが奏でられ、静かな感動を呼びました。アンコール曲は東日本大震災の3月11日ということもあり、バッハのG線上のアリアの鎮魂曲が胸にしみました。

続いて、フルオーケストラによる都の西北が。さすがにこみ上げるものがあり、涙腺がゆるみました。倶楽部ゆかりの寺岡さんの指揮と学生らの演奏は素晴らしく、思い出に残る演奏会となりました。わが大阪早稲田倶楽部も、あと6年で110周年を迎えます。これを機に、早稲田大学交響楽団とコラボできることがあれば幸いかなと思いました。

※写真提供：校友会京都府支部幹事長 奥田清様

公演のあと、4回生の副団員代表・上村奈津佳さんからお礼状が届きました。



大阪早稲田倶楽部の皆様

演奏会へのご来場、そしてお食事へのご招待誠にありがとうございました。大阪早稲田倶楽部の皆様のお力添えがあったからこそ、大勢のお客様にご来場いただき、大阪公演を成功させることが出来ました。素晴らしいホールの響きに包まれて渾身の演奏をし、お客様に大きな拍手をいただけたことは、とても印象に残る貴重な経験となりました。また会食では会員の皆様と楽しい時間を過ごさせていただき、これから社会人になる身として大変勉強になりました。当楽団は4～5名程度の小編成からの依頼演奏も承っております。ご興味を持っていただけたようでしたら、ご連絡いただければと存じます。

最後になりましたが、この度は当楽団の大阪公演に多大なご尽力をいただき、誠にありがとうございました。今後ともどうか変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大隈侯の故郷を訪ね、ゴルフ、観光、宴会を堪能

横山 利治(昭和63年理工)

大阪早稲田倶楽部の佐賀・博多ツアーが3月18、19日の両日、催されました。大隈侯の故郷・佐賀をみんなで訪ねようとの熊澤一郎会長の発案を、小西康仁理事長が受けて、古市尚・横山利治両副理事長が企画。前田修理事はじめ多くのメンバーの力で実現したツアーでした。

参加者の多くは、大隈重信侯記念館や隣接する生家、佐賀城址を初めて訪れ、「今まで知らなかった大隈侯の人生や偉業に触れられた」「佐賀の七賢人を産んだ偉大な地域のこ

とを学び直すことが出来た」などと大感激。倶楽部の勉強会「学活の杜」の合宿でもあり、先人の功績に学び、卓見に感動し、多くの偉業に対し、首を垂れました。

とはいえ、お勉強は1日のみ。1泊2日の予定でしたが、気の早い連中は前日から九州入りして、まずは古賀でゴルフ。夜はいつものように宴会をして、明けて「正規組」と合流。その夜の宴会は、中洲でイカの活け造りに舌鼓を打ちました。2日目(3日目)は、ゴルフか観光を選択。観光組は唐津城や伊万里の街散策を楽しみました。博多駅で夕方に合流し、新幹線の中でも宴は延々と続き、さらに親睦を深めました。

かみしも脱いだ懇親会に、ゴルフに、観光に。何も



かも堪能しました。諸先輩方の見識の深さ、人脈の広さと、“夜活”の乱れ方の対比が、若輩の私には何とも戸惑うばかり。ここで字にできないことは墓場まで持っていかなければ、と背負ったものの大きさに押しつぶされそうな、しかし、楽しい旅行でございました。あ〜しんど。



長岡京を巡る

田村 昌之(昭和54年法)



ウォーキング部会は令和5年4月22日、京都の長岡京界隈を巡るイベントを企画。大阪早稲田倶楽部24人、宝塚稲門会5人、神戸早稲田倶楽部3人の計32人が参加し、晴天の下、楽しい一日を満喫しました。

JR長岡京駅を出発し、最初に訪問したのは勝竜寺城跡公園です。南北朝時代から江戸時代初期まで城郭が存在した勝竜寺城は、天正6年(1578年)8月、細川藤孝の嫡男忠興と明智光秀の娘お玉(細川ガラ

シャ)が結婚式を挙げ、新婚時代の約2年間で過ごした城とされています。

「本能寺の変」で主君・織田信長を討った明智光秀は、この勝竜寺城を拠点とし、近くの恵解山古墳付近に本陣を置いて、羽柴(豊臣)秀吉を迎え撃ちました。

「山崎の戦い」に敗れた光秀は勝竜寺城に退却し、ここで最期の夜を過ごした後、自分の城への帰途、落ち武者狩りに遭ったとされています。

恵解山古墳は前方後円墳で、墓地となっている部分以外は復元整備され、古墳公園になっています。長岡天満宮では、名物のキリシマツツジが咲き誇り、屋台の出店もあって、大勢の参拝者で賑わっていました。

向日市文化資料館(無料)では、長岡京跡から出土した文化財が展示されていました。約10年と短期に終わった長岡京の復元模型を見た後、向日神社、長岡京大極殿跡を訪問しました。平地ばかりの歩きやすいルートで、帰宅時には私の万歩計は約2万3,000歩を記録していました。



「100年後の空の色を思い、資源の有効活用に挑む！」

豊島 恵子(昭和52年法)

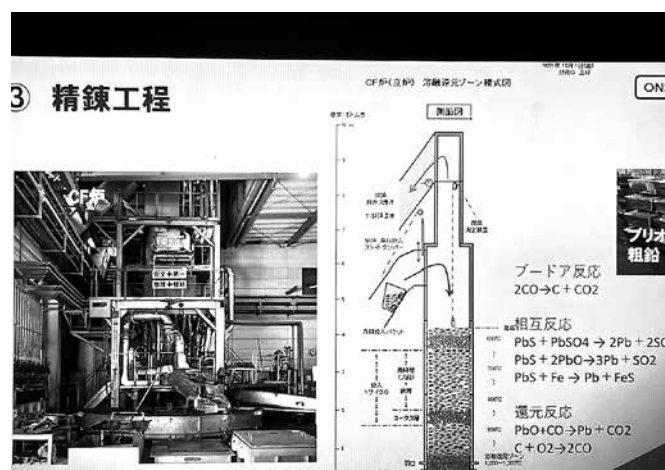
【6月16日Wフォーラム講演会報告 講師廣末雅昭氏(1968理工研)】



大阪鉛鉛精錬所(本社・大阪市此花区)会長の廣末雅昭さん(1968理工研)を講師に招いたWフォーラム講演会が6月16日、オンラインで行われました。同社では、使用済みのバッテリーなどから鉛を取り出し、分解精製再生

して新たな工業製品として再び世に送り出す事業をしています。資源の少ない我が国では極めて重要な仕事です。循環型社会の実現と社員の幸福を目指して、100年永続する企業を標榜される所以がここにあると思います。

参加者からの質問にもありましたが、電気自動車(EV)のリチウムイオン電池に使われるリチウムは、有害物質であるにも関わらず、分解・再生の方法がなく、再資源化が困難で、スラグ(精錬廃棄物)とされ



るしかないという課題を抱えています。中国では、古くなったリチウムイオン電池が野積みされていて、今後、深刻な問題に発展する可能性があるそうです。環境に優しいはずのEVが新たな環境問題を生み出す皮肉な事態が進行しつつあります。EVには、リチウムのほかにも有害物質で処理が難しいニッケルが使われています。

一方で、EV車にはパワーウィンドウなどの動力として鉛電池が使われています。素材の鉛は公害が出ない処理方法が確立されており、現在、さらにクリーンな精製方法が模索されています。若い世代が資源の回収について従来のやり方を変革しようと知恵を絞り、動いています。資源の再生に向けた様々な努力がかがっていると、日本の自動車会社がこだわるハイブリッドやディーゼルの生き残る道は、まだまだありそうだと感じました。

このように志高く、明日の日本のためを思う経営者が大阪早稲田倶楽部にはおられるのだと改めて思いました。高い理念と技術を、早稲田の後輩たちに伝えようとしている先輩がおられるということ、若い方々には、ぜひ知っていただきたいと思います。



第17回大阪早慶ゴルフ大会

前田 修(平成6年政経)

2023年5月5日、第17回大阪早慶ゴルフ大会が宝塚ゴルフ倶楽部で開催されました。今年は早稲田側が幹事を務め、関西在住の早稲田・慶應のOB・OGら総勢54名による母校の名誉を賭けた熱い戦いが繰り広げられました。

参加者の内訳は、昭和46年卒から平成30年卒までの大阪早稲田倶楽部31名、大阪慶應倶楽部23名。開会挨拶と記念写真の後、アウト・インからそれぞれ7組が午前8時28分にティーオフして、大会はスタートしました。天気に恵まれ、青空の下、気持ちよく汗をかきながらのプレーで会話も弾み、笑いの絶えない一日を過ごすことができました。



プレー後は懇親会が行われ、大阪早稲田倶楽部の小西康仁理事長が乾杯の挨拶をして、成績発表と持ち寄りの豪華景品の授与が行われました。個人戦は大阪早稲田倶楽部・横山利治さ

ん(昭63理工)がグロス93、ネット66.2ストロークで優勝しました。団体戦は、過去2回連続で大阪慶應倶楽部が勝利していました



が、今回は大阪早稲田倶楽部が優勝し、通算の対戦成績は早稲田9勝、慶応6勝(中止2回)となりました。

会の最後には、大阪早稲田倶楽部の熊澤一郎会長(昭51商)、大阪慶應倶楽部の渡辺岳夫会長(昭57経)があいさつ。大会の発展と次回大会での再会を願って閉会しました。

皆さんも、次回大会にはぜひ、ご参加いただき、「都の西北 早稲田」と「陸の王者 慶應」の特別な一体感を楽しんでみませんか。

団	体	戦：上位10名の合計ネットスコア
大阪早稲田倶楽部		：696.8ストローク
大阪慶應倶楽部		：709ストローク

青年部ゴルフ

北垣 博章(平成15年政経)

【日時】2023年6月17日(土)

【ゴルフ場】北神戸ゴルフ場

青年部主催のゴルフコンペが6月17日、北神戸ゴルフ場(兵庫県神戸市北区)で開かれました。6月中旬にも関わらず、気温が30度近い暑い一日でしたが、小西理事長にも参加いただき、親睦を目的に集い爽やかな汗を流しました。

私は小西理事長、福嶋千恵子さん、徳山享宏君とご一緒させて頂きました。私自身は、OBを10回出すなど散々なスコアでしたが、卒業年次も学部も異なる同伴メンバーと、キャンパスライフの話に花が咲きました。

表彰式では、川上宏さんがベスグロを獲得(スコア：99)されました。続いて懇親会もあり、久々に再会



した参加者らは和やかに談笑し、楽しい時間を過ごしました。

なお、倶楽部の諸先輩方からは、ゴルフボールなどのグッズや、商品券、お酒などの豪華商品を多数ご提供いただきました。スコア順に賞品を選び、大変盛り上がりました。本当にありがとうございました。

校友会ゴルフ 伊藤伸さんが優勝

小西 康仁(昭和52年商)

校友会大阪府支部主催の第13回ゴルフ大会が9月2日、よみうりカントリークラブ（西宮市）で開催され、34人が参加。伊藤伸さん（昭和60年教育）が初優勝されました。

暑さはまだ残るものの酷暑からは逃れ、ゴルフ日和のもとで開かれました。初参加の方も先輩、後輩に囲まれ、楽しくプレーされていました。伊藤さんはベストグロスの80でラウンドされ、栄冠に輝かれました。準優勝は86でラウンドの原田雅行さん（昭和61年政経）、3位は中原駿さん（平成24年教育）でした。会場の読売ゴルフ提供のキャディーバッグが当月賞として9位の廣内謙さん（平成元年理工）に贈られました。

優勝賞品は黒川明支部長が提供のホテルリッツカールトン大阪のペア食事券に加え、早稲田の特製刻印の施された一升瓶の焼酎で、伊藤さんは喜びいっぱいでした。「この夏は慶応が甲子園でにぎわいましたが、わが早稲田は今年の日本アマチュアゴルフ選手権で現役ゴルフ部の中野麟太郎君が優勝した嬉しいニュースがあります。私も優勝できて感激しています」とコメントされました。

写真は、優勝杯と副賞を手に笑顔の伊藤伸さん



青年部バーベキュー

北垣 博章(平成15年政経)

【日時】2023年8月6日（日）

【会場】THE BBQ GARDEN in
てんしば i:na（イーナ）

毎年恒例の青年部主催のバーベキューを8月6日(日)に、てんしば(天王寺公園)のバーベキュー施設で開催いたしました。15時から開始したものの35度を超える酷暑で非常に暑い日でしたが、食材・飲料も持ち込み可能な施設で、屋根もあり絶好のバーベキュー日和でした。

参加者は既存会員だけでなく、会員のご家族（お子さま）や新入会員にも多数参加いただき、総勢20名を超えました。美味しそうなお肉と野菜がグリルの上で焼かれる匂いは食欲をそそり、特に暑かったせい



か、持ち込んだお酒の消費もかなり早く、非常に楽しい時を過ごすことができました。参加者からは、今後の新歓イベントや青年部イベントへの参加表明もいただき、今回のバーベキューイベントで親睦を図ることができました。

京都であゆ料理を食す

有田 茂(平成4年政経)

第71回「食べ歩き会」が9月30日、「あゆ料理を食す」をテーマに京都市北区の京都洛雲荘で開催されました。

集合場所は京都市営地下鉄北山駅。私は、午前8時に自宅近くのバス停を出発し、現地に向かったものの、少し早すぎたかなと心配でした。実は、6月に大阪早稲田倶楽部の会員になったばかり。倶楽部の行事は初参加なのに、現地が一番早く着いてしまったらどうしよう、皆さんと打ち解けられるだろうかとドキドキしていました。

待ち合わせ場所に着くと、稲田さん、横関さんがすでににおられ、気さくに出迎えてくださいました。おかげで緊張感に悩まされることなく、すぐに打ち解けることが出来ました。やはり、母校で学んだ絆で繋がっている早稲田の卒業生ならではだと思いました。

タクシーで洛雲荘へ向かう車中でも、宮崎さんと早稲田の政治家について楽しく意見を交わしました。間もなく、趣き深い風情のある洛雲荘に到着し、席に着きました。ビールと、廣末先輩から振る舞われたワインで乾杯し、あゆ料理のコースをいただきました。

以下にメニューを記します。

1、焼き松茸。銀杏。2、子持ち鮎の甘露煮。うなぎのごぼう巻き。3、花ざんしょう。4、小さい酢の物。甘鯛のみぞれ和え。5、鰻のおとし梅肉付き。6、

子持ち鮎の塩焼き2匹。7、うまき、鴨茄子の田楽。うなぎの蒲焼き。8、茶碗蒸し。9、冷やしそうめん。10、酢の物。ごはん。果物。

ほとんどの料理が、魚の小骨まで丸ごと味わえました。そうめんにはこしが

あり、かやくご飯には松茸も入っていました。食事中、私の席ではマーケティングなど仕事の話を清水さんから面白く拝聴できました。

食事後は、鴨川の源流の川辺に出て、初秋の風情を楽しみました。多くの方が景色をスマホで撮影する中、伊藤さんが、稲田さんのことを「かわいい、かわいい」と連呼しながら、激写していました。

洛雲荘の玄関には、訪れた有名人の写真が飾っており、瀬戸内寂聴さんの写真もありました。帰りのタクシーでは、清水さんと、映画や音楽の話をしました。



スピルバーグ監督の作品に、東洋の思想の影響が見られると教えていただき、マーケティングの研究に留まらない博識ぶりに感銘を受けました。

タクシーは、あっという間に北山駅に到着し、伊藤さんが解散を宣言しました。

「食べ歩き会」は、「ひたすら楽しくやろう!」がコンセプトとのこと。次回は「味吉兆ぶんぼ庵」です。

会員の皆さん、どうもありがとうございました。

俳句会一年の歩み (第 634 回～第 636 回)

四月句会 2022年4月19日

兼題：草餅・種蒔・春眠

春眠や孟浩然も李杜も居て
古都春昼人力車夫の大欠伸
商 平

草餅を買いに自転車ひとつ走り
峠茶屋草餅ありののれんゆれ
こうじ

種を蒔く廃校の庭校歌の碑
種蒔を終へて農夫のひとりごと
いっこう

搗きたての草餅香る午後のこと
京都までさくらさくらの一日かな
こうき

老妻の馴染の菓舗の蓬餅
おだやかに終の栖や種を蒔く
けんじ

僧形が種を蒔きおり法隆寺
のどやかに馴染みの宿で春眠す
だいち

大和路や草餅ありの大幟
種蒔きを終えし農夫のキセルかな
秀 寛

ハレの日に草餅食べた幼き日
タンポポは風が種蒔き陽が育て
聡 泰

種蒔きてここに始める我暮らし
草餅や母へのお供え多いめに
松 嶋

もんぺ穿く種蒔く人や母過ぎる
参拝の帰路は定番蓬餅
東 堤

落葉松の芽吹くこの日によき知らせ
清明にのびやか園児のうたう声
京 子

ひまわりの種蒔いかにウクライナ
ベランダは北北東なり種を蒔く
喜 代

桜餅包装紙から香りをり
立山の地響きうねる雪崩かな
一 博

五月句会 2022年5月15日

兼題：初夏・五月一切

天平の薨光らせ風五月
春日野の五月の風明るくて
商 平

蠟梅の香り包むや山の道
夕焼や高野連山包みけり
こうじ

風薫る天に石垣竹田城
苔むして微笑の羅漢念仏寺
いっこう

杳ぬぎて初夏の草道楽しみり
長谷寺や牡丹ばたんの回り道
こうき

卯の花の腐す夜九相図身に沁むる
八十八夜九十九島に遊びたり
けんじ

列なしてモディリアーニ薄暑光
黒潮から荒ぶる海の青あらし
だいち

子供の日厄除け居合四方切り
壇飾り老人ホームの武者人形
秀 寛

この日「イマジ」唄う憲法記念日
夏めくや帰れば妻がボブショート
松 嶋

猫の毛も艶やかになる五月かな
夏の雨ベトリコールは恋の匂ひ
東 堤

幼子の口いっぱいのもちかな
みどり子の天使の笑顔初端午
京 子

郭公やここは武蔵も訪ひし寺
ズーヴニールアンネフランク薔薇の花
喜 代

天平の薨の下にひき蛙
竜田川空に向かひし鯉のぼり
一 博

六月句会 2022年6月21日

兼題：清和・南風・簾

悲しみの募りゆくまゝ梅雨に入る
紫陽花に降るとき雨の明るくて
商 平

空青く白雲流れ清和かな
京町屋軒に吊さる古暖簾
こうじ

清和なる富士の裾野に大鳥居
簾上げ長寿を祝う大広間
いっこう

夏草や茂るにまかせてはおけぬ
旅ゆけば植田広がる滋賀の里
こうき

梅雨さ中長谷川權に耽りたり
街角にボン菓子屋の音梅雨晴れ間
けんじ

川蟬の一閃咥え翔び去りぬ
荒南風の先にどっしり舳倉島
だいち

葦簀立て簾も掛けて夏支度
淡路島七福神や南風
秀 寛

清和の風青に青色溶ける空
いつ来るや清和の空のウクライナ
聡 泰

病み上がり家人と散歩清和の日
南風飛んだ帽子を追う二人
松 嶋

みなみ風上りし坂の織田作碑
南吹く姫の微笑や当麻寺
正

お見合いに絵簾かかる座敷かな
紫陽花の咲きし寂庵主亡く
京 子

深呼吸する朝や心も清和にて
ほの暗き簾のうちに暮らしあり
喜 代

冷酒酌む女将の指の白きこと
「先ずビール」今も忘れぬ友の声
一 博

俳句会一年の歩み (第 637 回～第 639 回)

七月句会 2022年7月19日

兼題：鯖・祭・河童忌

河童忌や不安の謎の解けぬまま
あらこんなにも蟬の穴蟬の殻
商 平

紀伊水道明り点々鯖火かな
鯖寿司の有りと暖簾の風に揺れ
こうじ

河童忌や傍線残す文庫本
路地抜けて都大路の山車を追ふ
いっこう

鯖寿司のねた厚くして京の味
二条城ぬけて松風かき氷
こうき

出町橋たもとに石碑鯖街道
明日春風古墳を囲む青田かな
けんじ

みちのくの千古の祭闇の中
木曾川の濁流速し梅雨の明
だいち

名物の焼鯖寿司や伊予の旅
土佐の雨伊予は晴れたり夏通路
秀 寛

京の香の大原過ぎて鯖街道
青春は遠くて苦き祭かな
聡 泰

漱石と何を語ろう我鬼忌哉
河童忌や比呂志と也寸志も名を残し
松 嶋

老いてなほ未熟者なり我鬼忌かな
猫とわが老いて日暮るる端居かな
正

鯖二本三枚おろし腕ふるい
河童忌や良句浮かばず外は雨
京 子

河童忌や文学全集手擦れなく
鉾立てはまず縄がらみより始めらる
喜 代

懐かしき祭囃子が響く街
凶弾に怒り涙の大夕立
一 博

八月句会 2022年8月23日

兼題：寝冷・夏越・万緑

濁世なり夏越被もねもころに
たそがれや色に出にけり酔芙蓉
商 平

窓叩く雨音激し夏越かな
萬緑の山洗うごとと俄雨
こうじ

学碑囲む万緑伊豆峠
万緑や抹茶一服午後三時
いっこう

峰はるかその上はるか雲の峰
百日紅こぼしふるごと風にゆれ
こうき

湖光るいなびかり消へまた闇に
秋澄みしシャガールの青濃く深く
けんじ

日が落ちて巫女もくぐりし茅の輪かな
万緑や信貴の山容迫りくる
だいち

家ごとにしきたりありや盆供養
正信喝唱えて巡る盆供養
秀 寛

草いきれ往時はいかに無人村
夏の果て山の緑の褪せる頃
聡 泰

寝冷子に腹巻作る若きママ
手を添えて母を潜らす茅の輪哉
松 嶋

田の神様微笑深し夏被
万緑の山山山の薩摩かな
正

大茅の輪潜りて蒼き匂ひかな
一人称で語る体験終戦忌
喜 代

形代を流す禰宜の手夏越かな
他人の子も叱ってくれし生身魂
京 子

万緑の生駒の峰に風通る
吉野山夕陽に映える赤とんぼ
一 博

九月句会 2022年9月20日

兼題：秋刀魚・運動会・月見

一等賞エンピツ三本運動会
月を見つ月に想ひつ月と酌む
商 平

秋刀魚焼く煙ゆったり路地流る
秋刀魚漁終えて船足早くなり
こうじ

秋刀魚うまし酒場は北の港町
運動会母校百年父も子も
いっこう

さんま焼く匂ひがたのし宵の道
赤と白抜きつぬかれつ運動会
こうき

運動会四人兄弟皆一等
八十路の爺消壺傍に秋刀魚焼く
けんじ

ことごとと運動会の午前五時
潮騒の香をふんだんに初さんま
だいち

運動会母の得意のいなり寿司
勝浦の丸干し秋刀魚かぶりつき
秀 寛

十代を過ごせし昭和秋秋刀魚焼く
耳残る母の声援運動会
聡 泰

七輪で秋刀魚塩焼き飯三杯
病室で妻と眺める月見哉
松 嶋

除るなんて腸がいいのよ秋刀魚はね
独り法師団子も一つ月を待つ
正

星のなき街に良夜の今宵かな
未曾有なる災害来るといふ無月
喜 代

月見よりだんご気になる子供かな
運動会にこにこ走るラストの子
京 子

ランプ明り消して夜長のテントかな
稲刈りて田に積み上げし捨案山子
一 博



俳句会一年の歩み (第 640 回～第 642 回)

十月句会 2022年10月18日

兼題：秋一切

笛の音に秋を聴かばや須磨なれば
曼珠沙華消えし棚田の夕暮るる
商 平

鳥の群れ一線画す秋の空
秋灯を横切る人の影や濃し
こうじ

傾きし婦警の案山子通学路
菊人形恋も戦も演じをり
いっこう

木犀の香のあるところ新聞受け
山辺の松籟かすか秋の風
こうき

紅葉且つ散るひとひらのなに急ぐ
浮かびくるあのここのこと秋の声
けんじ

菊一輪一輪挿しにおさまれり
すすき揺れ野地蔵風に身じろがず
だいち

国葬の弔砲響く秋の空
三斎流武家の茶会や信貴の秋
秀 寛

たまゆらの秋はそぞろに過ぎゆきぬ
蜻蛉の滝のしぶきに淡い虹
聡 泰

川掃除済めば皆で芋煮会
ご近所の声かけし嬉し芋煮会
松 嶋

中也読む幾そ度かの秋思かな
呼ばずとも床くぐる猫冬隣
正

サニーサイドオブストーリーーいちよう黄に
遠き日の一こま百舌鳥の速費も
喜 代

鐘の音コスモスも聞く観世音
逞しき農夫の腕や稲を干し
京 子

秋時雨女人高野は苔生して
皆の衆頬紅くし新走り
一 博

十一月句会 2022年11月21日

兼題：七五三・焚火・霧

一茶忌やすねてばかりはをれぬぞよ
芭蕉訪ふ洛北なれば時雨せよ
商 平

刈り入れを終えて田圃の焚火かな
初しぐれ石灯籠を洗いけり
こうじ

霧の香やバス停のある並木道
霊場の夜焚火囲む信者講
いっこう

二月堂見下ろす先の霧かすか
枯一葉くも一本の糸の先
こうき

糟糠の妻の肩にも木の葉髪
芭蕉忌に訪なふ生家嵌め格子
けんじ

鐘鳴りて湖東三山しぐれけり
海鳴りの霧の漁村や灯が二つ
だいち

七五三姉のお下がり袖長く
元夫(つま)の年忌法要冬隣
秀 寛

口紅をつけておしやまに七五三
薄霧にかすむ二上の二つこぶ
聡 泰

こっそりと焚火に入れて芋を焼き
七五三着物の妹よく喋り
松 嶋

霧を出て霧に入るやウォーキング
小春日や猫のくさめについ我も
正

遠き日のアルバム繰れば七五三
この星に束の間生きて月の蝕
喜 代

九十九折濃霧にかくる登山バス
朝霧の晴れて景色は生き生きと
京 子

親子連れ風船連れて七五三
音も無く霧に溶け込む三千院
一 博

十二月句会 2022年12月20日

兼題：北風・落葉・師走

はばかればはばかりに咳こんで
こんな夜は奴を誘うておでん酒
商 平

朝掃きて夕べ又掃く落葉焚
連峰を白雲覆い山眠る
こうじ

落葉はく老婆と犬の一軒家
経となへ作務衣の僧の落葉たき
いっこう

人生は浮き沈みあり日記果つ
栞にと銀杏落葉の二三枚
こうき

冬空に一大塊の雲動く
「ん」のつくもの食したる冬至かな
けんじ

野仏の足元かくす深落葉
夕かげや野辺の送りの師走の日
だいち

北風の信貴の山にて護摩を焚き
初雪の知らせの届く高野山
秀 寛

荒海や舞って優しき波の花
年ふりて寄する心は落葉にも
聡 泰

初デート北風吹いて肩寄せり
次々と挨拶交わす師走哉
松 嶋

風の吹き曝したる浮御堂
珈琲のミルクの渦や寅彦忌
正

家々の庭木すっきり師走かな
北風の追ひ風うれしペダルこぐ
京 子

湯どうふや山の話で盛り上がり
初霜を踏みしめ急ぐ御堂筋
一 博

俳句会一年の歩み (第 643 回～第 645 回)

一月句会 2023年1月17日

兼題：新年一切

読初は『万葉集』の巻二十
蕉翁の終焉の地へ初句会
商 平

雑煮祝ふ受け継がれゆく味噌の味
下鴨にかけ声ひびく初蹴鞠
いっこう

句作りやついと手が伸びごまめかな
風花やふらつく心旅心
こうき

初弘法有為の奥山さ迷へり
年明くる吾が終楽章アダージョで
けんじ

川の如時流れゆく去年今年
初日の出山並み古都を隔てをり
だいち

呼び込みの声もめでたき初弘法
初春の挨拶参りの舞妓かな
秀 寛

冬の空安倍氏受難の西ノ京
新年は三日坊主の誓い立て
聡 泰

年賀状貰えば直ぐに親の手に
お年玉いまかいまかと待ちぼうけ
松 嶋

微睡んで乗りすごしたり初電車
初詣祖父と我の名が玉垣に
正

七草粥箸をかすめる緑かな
まなごしや二十才の乙女矢をはなつ
京 子

元旦に邦楽響む異人館
年酒酌み六腑に沁みるめでたきよ
一 博

二月句会 2023年2月21日

兼題：立春・雪解・公魚

公魚のひらひら釣られゆくあはれ
風花の舞って神戸は坂の街
商 平

立春の日射しかえして団地窓
軒下や雪解雪の止まらず
こうじ

渦巻ける鳴門は晴れて春立てり
春立ちぬ茶柱の立つ古都の茶屋
いっこう

歌人と蕉翁挙げたり実朝忌
春立ちぬ大地蠢き出しさうな
けんじ

紅梅の日ごとふくらみ二つ三つ
雨雫光りとどめて梅の花
こうき

舟中は公魚豊漁と宴盛り
公魚が竿先曲げて鈴になり
蘭 丸

能登の海波しづかなる春来る
日矢さして太陽の塔春来る
だいち

空海の心を思ふ菜の花忌
二月七日北方領土の日ホッケ食う
秀 寛

寒い日は母の口ぐせお水取り
猫柳雨したたりて銀に映え
聡 泰

立春や「採用通知」届くなり
雪とけて犬のお散歩長くなり
松 嶋

堂々と箱に六房冬苺
初雪にペンギン歩き試しけり
啓一朗

ソロ聞こえデュエットとなり猫の恋
春立つや古希の混声合唱団
正

本復の珈琲旨しけふ立春
裸木の群いままきに芽吹かむと
喜 代

雪解の水は育むわさびの田
立春や童謡聞こえ土手の上
京 子

懐かしき友より便り春立つ日
路の躑躅待たるる日々や禪の庭
敬 子

立春や吉野の山は雪景色
雪解や眩いばかり八ヶ岳
一 博

三月句会 2023年3月29日

兼題：雛祭・白酒・春の鳥

囀りに耳遊ばせてみてひとり
杜の黙ひとり占めして春の鳥
商 平

白酒や江戸絵のラベル懐かしき
床の間に雛を飾りて日差し映ゆ
こうじ

格子窓うだつの街の吊るし雛
武家屋敷すまし顔なる古雛
いっこう

「古寺巡礼」手に西ノ京春の人
独り居や家持詠みし揚雲雀
けんじ

黄ふさふさ道をせばめて花ミモザ
次々と河口は近し流れ雛
こうき

春の海風にただよう琴の音
春の鳥大空高く舞い昇る
蘭 丸

窓明かりロゼワイン手に桜餅
飛鳥道ひかりて春の日差しかな
だいち

お大師の雛に埋まる壱阪寺
ワセオケのG線のアリア3・11
秀 寛

我が庭に来たれよ春の番鳥
春駘蕩猫のっそりと塀の上
聡 泰

雛祭母の大盛りちらし寿司
お雛様嫁ぎ先へとお引越し
松 嶋

去に際に寿司桶届く春の夕
仏壇の横に三組のひな飾り
啓一朗

天空を飾にかけて黄沙降る
はんなりと見つめていはる京ひな
正

つびつびと鳴く今朝の鳥春の鳥
白酒にほの紅差して姉妹
喜 代

露天風呂囀り聞こゆ旅の宿
雪洞の灯にぼんやりと雛の顔
京 子

晴れの日君待ちたるや木の芽和へ
白酒や相伴うふふ小さき宵
敬 子

夕食は五目ちらしや雛祭
娘膝猫はゴロゴロ雛祭
一 博



校友会大阪府支部 新支部長に羽牟正一氏



校友会大阪府支部の定時支部総会が11月25日、大阪新阪急ホテルで開催され、支部長を2期4年務めた黒川明さん（昭和52年政経、参天製薬代表取締役会長）が退任。新しい支部長に羽牟正一さん（昭和51年法、関西テレビ放送代表取締役社長）＝写真＝が選任されました。

総会には、80人が出席。大学理事の若尾真治さんが『『世界に輝く Waseda』を目指して～ Waseda Vision 150 and Beyond』をテーマに講演。本部からは萬代晃・校友会代表幹事らが来賓として出席されました。

退任の黒川さんは「みなさまのおかげで4年務めることができました。これからも活気ある支部でありますように」と挨拶。羽牟さんは「私の学生時代は地方出身の学生が7割ほどのようでしたが、今は逆。女子学生も4割を超えるそうです。時代は変わりましたが、校友会支部は親睦を旨とし、楽しく意義あるものにしたいと思っています」と抱負を述べられました。

総会では、役員人事案や2022年度決算、23年度予算などが可決されました。副支部長には、新たに熊澤一郎さん（昭和51年法、大阪早稲田倶楽部会長、不動産鑑定士）、藤野研一さん（昭和62年理工、関電不動産開発代表取締役社長）、嶋田泰夫さん（昭和63年政経、阪急阪神ホールディングス代表取締役社長）の3人が選任されました。

幹事では、藤野研一さん、平岡史生さん（昭和59年教育）、井本久子さん（平成6年教育）、奥野陽子さん（平成18年人科）が新たに選ばれました。副幹事長は和田浩孝さん（平成元年教育）が退任し、後任に小林一則さん（昭和55年政経）が就きました。

2023年度の役員・幹事は以下の通り。

支部長 羽牟正一（昭51法）

副支部長 竹田雅幸（昭47商）、熊澤一郎（昭51商）、廣富靖以（昭53政経）、藤野研一（昭62理工）、嶋田泰夫（昭63政経）

監事 松本勝幸（平元政経）、長谷川浩之（平3商）

幹事長 森本宏（昭60法）

副幹事長 小林一則（昭55政経）

改選幹事（任期2年）26人

＜役員＞熊澤一郎（昭51商）、羽牟正一（昭51法）、黒川明（昭52政経）、廣富靖以（昭53政経）、藤野研一（昭62理工）

＜～昭58＞角和夫（昭48政経）、小林一則（昭55政経）、小林直樹（昭58政経）、西嶋一泰（昭58政経）

＜昭59～平3＞中村雄一（昭59理工）、平岡史生（昭59教育）、原田裕子（昭60政経）、滋野雅之（昭63理工）、和田浩孝（平元教育）

＜平4～平10＞石原美保（平4法）、藤原嘉人（平4政経）、古田哲也（平4政経）、井本久子（平6教育）、関寛之（平8理工）

＜平11～＞秋元敬典（平12商）、北側元之（平14教育）、北垣博章（平15政経）、伊丹香寿美（平16法）、奥野陽子（平18人科）、下村和也（平20社）、岡根裕樹（平26商）

非改選幹事（残り任期1年）25人

＜役員＞竹田雅幸（昭47商）、嶋田泰夫（昭63政経）

＜～昭51＞久保允誉（昭47商）、野村公平（昭47法）、尾下千明（昭47法）、福島裕（昭48商）、村田吉優（昭51政経）

＜昭52～59＞尾田沙智乎（昭52商）、小西康仁（昭52商）、荒武貞雄（昭56法）、古市尚（昭56教育）、賛川芳郎（昭57教育）

＜昭60～平10＞森本宏（昭60法）、藤木玄三（昭62理工）、種田ゆみこ（平元商）、水上ただし（平3社学）、大西平一（平4政経）、音田裕一郎（平4人科）、梅原秀昭（平5法）、北川博（平10法）

＜平11～＞酒井敏行（平11人科）、白原早織（平11人科）、阪本成樹（平12商）、北野后子（平18法）、播野貴也（平19人科）

新入会員名簿、退会会員

倶楽部へようこそ 新入会員を歓迎

入会者(2022年10月～23年8月)

姓名	卒年	学部	勤務先	役職
松田 友佳	2020	理工研究科	関西電力	
岡吉 和征	2008	社会学	(株) Ash	
中谷 文一郎	2004	商		
大平 未来	2004	教育	(有) サプライズ	
柴谷 宗叔	1979	文	性善寺	代表役員住職
杉原 茂樹	1987	法	株式会社大本組大阪支店	管理部長
山田 秀人	1986	法	中海鋼業株式会社	取締役社長室長
福田 貴之	2012	商	旭化成ホームズ株式会社	大阪総合支店長
南山 義輝	2021	スポ	株式会社C B C	
奥田 名保子	2007	人科		
馬場 悠司	2001	政経	花又	代表
小林 明	1979	教育	清風南海高等学校	非常勤講師
海野 祐	2010	社	中央自動車工業	
小林 茂	1985	政経	日本経済新聞社	京都支局長
松尾 真希	2000	文	株式会社F r a n k P R	代表取締役
松原 一樹	2004	人科	教育戦略株式会社	代表取締役
荻野 公一	2007	社	毎日新聞社	
沼間 淳作	1995	商	阪急阪神ホールディングス株式会社	
江渕 太朗	2023	文	住友化学株式会社	
岸田 隆志	2020	政経	ベネッセコーポレーション	
江藤 栄作	1992	理工	あやめ監査法人	代表社員
工藤 大知	2020	法	ジェイアール東海エージェンシー	
三井 雄馬	2018	政経	野村証券株式会社	
海野 小百合	2007	政経	SBI ホールディングス株式会社	
有田 茂	1992	政経	株式会社ジェイランド	
橋元 紀子	1996	文	のぐち法律事務所	
好川 忠延			好川忠延建築設計事務所	
飯田 純一	2011	商	パナソニックコネクト株式会社	
小角 政弘	2012	教育	株式会社ルーシス	
酒井 伸太郎	2007	商	関西ペイント株式会社	
村井 大輔	2016	法	弁理士法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK	
草野 亜美	2022	社会科学	キリンビール株式会社	

退会者(2022年6月～23年8月)

姓名	卒年	学部	勤務先	役職
崎山 謙治	2001	商	J B A関西株式会社	
六車 弘徳	1970	理工		
田中 宏	1958	文	田中建設株式会社	
中村 昌太郎	2017	商	野村証券	
小川 兵衛	1987	理工	日本不動産研究所	
鈴木 興治	1996	政経	鈴木総合法律事務所	
松尾 雄一	2001	政経	ヤンマーテクニカルサービス (株)	
谷村 勇	1991	システム科		

退会者

姓名	卒年	学部	勤務先	役職
玉木 芳和	1979	商		
川口 珖平	1968	教育		
梅田 順一郎	2008	社	東京海上日動火災保険	
西岡 慶典	2015	社	三菱UFJ銀行	
余頃 文昭	1975	政経		
谷川 良佑	2006	政経	野村不動産	
高橋 繁樹	1971	文		
島永 哲				
山田 純子	1963	理工		
西納 功	1968	理工	西納公認会計士事務所	代表
森 一貫	1965	政経		
多田 大介	1996	政経	クオレ法律事務所	
田中 邦明	1981	商	協同鉄工株式会社	
中條 聖嗣	1991	商	パリゼンヌ株式会社	
森口 尚	1996	法	よしもとクリエイティブエージェンシー	
上田 玄	2010	法科院	大阪府庁	
林 英範	1992	法	エムアールエム・ワールドワイド株式会社	
戸田 雄太郎	2014	法	オーセンス法律事務所	
清水 泰貴	2020	文	株式会社日本M&Aセンター	
金岡 えつこ				
木下 充弘	1990	商	南海辰村建設株式会社	統括部長
塚越 邦光	1967	理工	新興化学工業株式会社	顧問
渡邊 翔一	2005	商		
下崎 智之	1968	政経	株式会社丸福地所	
青木 亨			有限会社ニホンリスクマネジメント	代表役員
山田 英樹	2005	人科	上町総合法律事務所	
中島 哲也	1988	法	三菱地所株式会社	支店長
大倉 邦雄	1972	商		
茂木 雅弘	1991	商	明治安田生命相互会社	支社長
岡野 雅夫	1978	商		
細谷 一郎	1969	法		
荒川 雄次	1989	法	荒川雄次法律事務所	
佐伯 友史	1986	政経	三井住友銀行	専務取締役
山田 淳	1991	商	山田淳税理士事務所	
藤井 康弘	1974	教育		
米山 寛	1961	政経		
安藤 直之	1985	商	あいおいニッセイ同和損害保険	
中井 稔	1955	教育	中井エンジニアリング	取締役
松浪 健太	1997	商	松浪ケンタ事務所	
南 仁秀	1981	理工	平成金属株式会社	
清水 敏和	1967	政経	(有) トシ・シミズ	
黒田 當士	1984	社	自由民主党大阪市議員団	
坂倉 保	1957	法		
小川 昌悟	2020	創造理工		

2023年度 執行役員、監事、事務局長及び会計担当理事名簿

会 長 熊澤 一郎 昭51
 理 事 長 小西 康仁 昭52
 副 理 事 長 荒武 貞雄 昭56
 副 理 事 長 古市 尚 昭56
 副 理 事 長 原田 裕子 昭60
 副 理 事 長 森本 宏 昭60
 副 理 事 長 横山 利治 昭63
 副 理 事 長 和田 浩孝 平1

副 理 事 長 石原 美保 平4
 監 事 大砂 裕幸 昭56
 監 事 種田ゆみこ 平1
 事 務 局 長 秋元 敬典 平12
 事務局担当理事 水上ただし 平3
 事務局担当理事 大西 平一 平4
 会計担当理事 酒井 敏行 平11

新任理事
(任期2年)
36名

田尾 秀寛 1969(昭44)商
 向井 利明 1969(昭44)政経
 今澤 哲朗 1970(昭45)政経
 山澤 俱和 1971(昭46)法
 西田 隆郎 1972(昭47)商
 角 和夫 1973(昭48)政経
 保田 洋三 1973(昭48)法
 藤原 充 1976(昭51)商
 熊澤 一郎 1976(昭51)商
 伊藤 馨 1976(昭51)政経
 井上 敏彦 1976(昭51)文
 小西 康仁 1977(昭52)商
 佐藤 光宏 1978(昭53)理工
 小林 一則 1980(昭55)政経
 田中啓一朗 1980(昭55)社会学
 藤林 精二 1981(昭56)法
 西瀛 一泰 1983(昭58)政経
 森本 宏 1985(昭60)法
 稲部 勝博 1985(昭60)商
 大橋 哲也 1985(昭60)政経
 伊藤 伸 1985(昭60)教育
 岡崎 信一 1985(昭60)法
 和田 浩孝 1989(平01)教育
 水上ただし 1991(平03)社会学
 大西 平一 1992(平04)政経
 古田 哲也 1992(平04)政経
 梅原 秀昭 1993(平05)法
 前田 修 1994(平06)政経
 井本 久子 1994(平06)教育
 梶谷 健治 1997(平09)社会学
 酒井 敏行 1999(平11)人科
 免 範親 2003(平15)理工
 伊丹香寿美 2004(平16)法
 藤田沙穂里 2004(平16)法
 奥野 陽子 2006(平18)人科
 徳山 享宏 2011(平23)商

現任理事
(任期1年)
37名

吉川 一三 1970(昭45)商
 竹田 雅幸 1972(昭47)商
 稻田 増光 1972(昭47)政経
 野村 公平 1972(昭47)法
 奥野 富雄 1974(昭49)社会学
 尾田沙智乎 1977(昭52)商
 豊島 恵子 1977(昭52)法
 田村 昌之 1979(昭54)法
 島田 隆史 1979(昭54)政経
 吉田 源三 1981(昭56)政経
 荒武 貞雄 1981(昭56)法
 古市 尚 1981(昭56)教育
 費川 芳郎 1982(昭57)教育
 河野 一博 1984(昭59)社会学
 中村 雄一 1984(昭59)理工
 平岡 史生 1984(昭59)教育
 大久保 滋 1985(昭60)政経
 原田 裕子 1985(昭60)政経
 入澤 知佳 1987(昭62)社会学
 小泉じゅん子 1972(昭47)文
 横山 利治 1988(昭63)理工
 嶋田 泰夫 1988(昭63)政経
 滋野 雅之 1988(昭63)理工
 前野 岳洋 1988(昭63)法
 高橋 清之 1988(昭63)政経
 大塚 紹子 1989(平01)文
 石原 美保 1992(平04)法
 音田裕一郎 1992(平04)人科
 関 寛之 1996(平08)理工
 白原 早織 1999(平11)人科
 秋元 敬典 2000(平12)商
 北側 元之 2002(平14)教育
 北垣 博章 2003(平15)政経
 柴田 英和 2005(平17)政経
 北野 后子 2006(平18)法
 松井瑛太郎 2010(平22)法
 中谷 睦 2011(平23)教育

収支計算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部		
会 費		6,922,631
寄付金		0
出版協力金		200,000
事業収入		2,082,800
雑収入		514,078
当期収入合計		9,719,509
支出の部		
事業費	事業費	2,574,900
	印刷費	407,000
	会員名簿	0
	小 計	2,981,900
経費	給料・諸手当	3,292,483
	家賃・共益費	1,716,510
	通 信 費	484,116
	消耗品費	1,247,961
	振替手数料	51,143
	慶弔接待費	65,740
	雑 費	445,280
	広告宣伝費	500,000
	予 備 費	0
	小 計	7,803,233
当期支出合計		10,785,133
当期収支差額		△1,065,624

(単位・円)

編集後記

広報委員会：音田 裕一郎

広報委員会の仕事を小林一則先輩から引き継いでから、初めての年誌作成となりました。秋号とうたっているながら、完成が12月にずれ込んでしまったのは、ひとえに私の力不足が原因です。これまで一人で、広報業務を一手に担ってこられた小林先輩の偉大さと、己のふがいなさを改めて思い知りました。

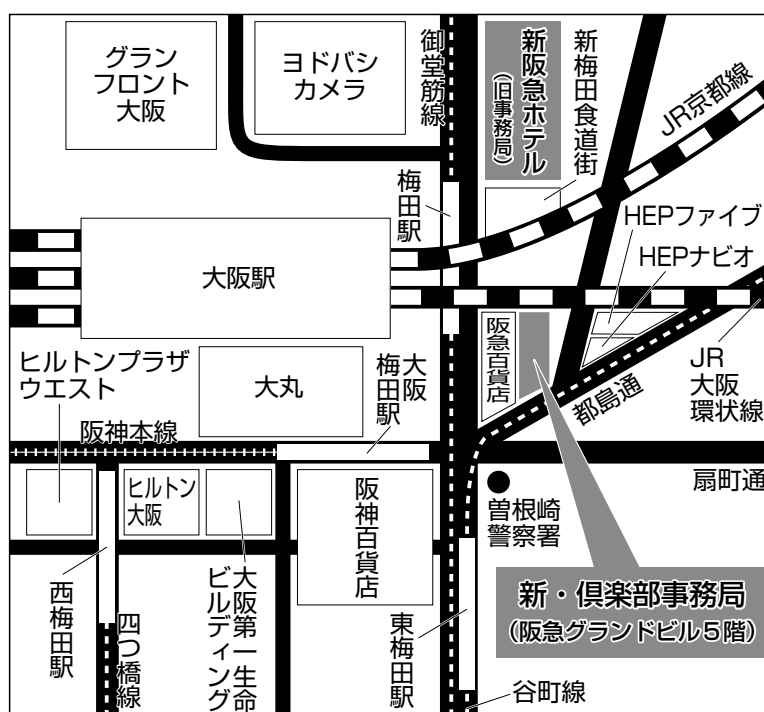
春以降、倶楽部広報の仕事をやらねばと焦り続けていました。しかし、勤務先の業務も多忙を極め、自由な時間がとれませんでした。気が付けば、季節は夏から秋に。さらに体調を崩し、心臓カテーテル治療で短期入院するオマケまでつき、何度もくじけそうになりました。

それでも何とか完成させることが出来たのは、広報委員会の古市尚先輩や大西平一さんをはじめ、豊島恵子先輩、秋元事務局長、水上ただしさんら、倶楽部の皆さんの温かいご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

倶楽部事務局 阪急グランドビル5階に移転

倶楽部の事務局は、約14年間、大阪新阪急ホテル（大阪市北区芝田1-1-35）に置かれていましたが、2023年12月11日、阪急グランドビル5階（大阪市北区角田町8-47）に移転しました。大阪新阪急ホテルが老朽化で閉鎖、解体されることになったためです。

倶楽部の事務局は、もともと大阪市内のビルの一室を転々とした後、2004年10月に中之島のリーガロイヤルホテルの中に開設されました。さらに、2010年5月、大阪新阪急ホテル3階へ移転しました。ホテルの改装に伴い、ホテル内でさらに引っ越し、2015年5月から3階の別の部屋を使用していました。



大阪早稲田倶楽部



年誌 vol.178 発行：2023年12月

〒530-0017 大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル5階

TEL：06(6360)6222

FAX：06(6360)6223

URL：https://osakawaseda.jp/

mail：125@osakawaseda.jp

倶楽部業務時間：月・水・金（祝日、年末年始・お盆を除く）

13:00～18:00

編集／大阪早稲田倶楽部広報委員会 大阪読売サービス(株)

印刷／大阪読売サービス(株)



阪急阪神東宝グループ

幕が上がる、夢がはじまる。

TAKARAZUKA *Revue*



©宝塚歌劇団

宝塚大劇場

阪急宝塚駅下車
(営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

東京宝塚劇場

JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車
(営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

●お問い合わせ TEL.0570-00-5100

※一部の携帯電話、IP電話等からはご利用いただけません。

【宝塚歌劇公式ホームページ】<https://kageki.hankyu.co.jp/>

